

三重県立看護大学 地域交流センター

認定看護師教育課程「感染管理」

(特定行為研修を組み込んでいる教育課程：B 課程)

令和4年度

入 学 説 明 会

日 時：令和3年11月12日(金)

14:30～16:00

開催方法：WEB (Zoom 使用)

◆ プログラム ◆

- | | |
|-------------|-------------------|
| 14:30～15:00 | 認定看護師教育課程概要 |
| 15:00～15:15 | 募集概要 |
| 15:15～15:30 | 感染管理認定看護師からのアドバイス |
| 15:40～16:00 | 質疑応答 |



I. 認定看護師教育課程概要

1 教育理念

人々の健康に関するニーズが複雑・多様化している中で、看護に対する社会的な要請は量から質へと転換しています。看護のあらゆる面において高度化・複雑化・専門化が進む状況の中で、質の高い看護を提供できる人材を育成することが必要です。

崇高な人間性と幅広い視野を基盤にして、高度で専門性のある看護実践能力により、保健・医療・福祉領域における特定の看護分野で、安全と質保証に貢献できる人材を育成します。

2 教育目標

地域社会の多様な保健・医療・福祉施設において、看護を有効に機能させ、看護の質の高度化を図るため、高度な看護実践力、看護管理能力・指導力、総合的調整力を有する人材を育成すること。

生命の尊厳に基づく倫理観と柔軟な思考力を備え、人間を全人的に理解し、特定の看護分野で看護ケアの広がりや質の向上に貢献できる人材を育成すること。

自己啓発によって、高度な看護実践に必要な知識や技術を身につけ、能力を伸ばし、また、これを最大限に発揮できる人材を育成すること。

3 感染管理認定看護師の目的

- (1) 感染管理分野において、個人、家族及び集団に対して、医療関連感染予防のための高度な管理能力及び高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
- (2) 感染管理分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
- (3) 感染管理分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
- (4) 感染管理分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

4 感染管理認定看護師に期待される能力

- (1) 施設及び地域の状況を評価し、医療関連感染予防・管理システムを組織的かつ戦略的に構築し推進することができる。
- (2) 施設の状況にあわせた医療関連感染サーベイランスを実践できる。
- (3) 感染リスクの高い患者あるいは感染徴候にある患者を多角的に捉え、臨床推論力と病態判断力に基づいた実践により、感染症の進行や重症化を予防し回復を促進することができる。
- (4) 感染管理分野において役割モデルを示し、看護職への指導、看護職等へのコンサルテーションを行うことができる。
- (5) より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとして役割を果たすことができる。
- (6) 医療等を提供する場で働くあらゆる人々や患者とその家族に対し、倫理的配慮を行いながら医療関連感染予防と管理、抗菌薬の適正使用等における実践ができる。

5 特定行為研修

特定行為研修区分別科目「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「感染に係る薬剤投与関連」の演習及び実習については、特定行為研修指定研修機関である、三重大学医学部附属病院と連携して行います。

特定行為研修に該当する科目（共通科目のうち「指導」「相談」「看護管理」を除く教科目と特定行為研修区分別科目）にはeラーニングでの学習形態を活用します。

eラーニングの活用にあたっては、研修生の学習を促進するため、登校日を設けるなど教科目ごとの履修状況や理解度に応じた支援を行います。反復学習も可能であり、学習内容やシステムの操作・トラブル等の質問にも対応します。

6 履修要領

(1) 教育期間

令和4年5月～令和5年2月（10か月）

年間スケジュール予定（変更の可能性もあります）

入学式・オリエンテーション	5月16日（月）	
eラーニング開始	5月17日（火）～	※登校日を設けます。
集合教育開始	8月1日（月）～	※補講期間を設けます。
臨地実習	10月～12月	※追・再実習期間を含みます。
修了試験	1月	※補講期間、追・再修了試験を設けます。
修了式	2月	

(2) 授業形態

週5日（月～金曜日）の集合型の開催です。

(3) 授業時間

1時限	9：00～10：30
2時限	10：40～12：10
3時限	13：00～14：30
4時限	14：40～16：10
5時限	16：20～17：50

(4) 授業科目

研修生に対する授業は、定められた教育課程（カリキュラム）に基づいて行われます。

本教育課程は、公益社団法人日本看護協会看護師制度委員会が定める認定看護師教育カリキュラムの基準に沿っています。

現在、教育課程開設のため、公益社団法人日本看護協会が実施する認定審査に申請中です。

(5) 授業科目の区分

内容による区分	共通科目
	専門科目
	・ 認定看護分野専門科目
	・ 特定行為研修区分別科目
	演習及び臨地実習

<授業科目一覧>

共通科目	時間数	専門科目（認定看護分野専門科目）	時間数
1. 臨床病態生理学	40	1. 感染管理学	15
2. 臨床推論	45	2. 疫学・統計学	30
3. 臨床推論：医療面接	15	3. 微生物学	30
4. フィジカルアセスメント：基礎	30	4. 医療関連感染サーベイランス	45
5. フィジカルアセスメント：応用	30	5. 感染防止技術	32
6. 臨床薬理学：薬物動態	15	6. 職業感染管理	15
7. 臨床薬理学：薬理作用	15	7. 感染管理指導と相談	15
8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	8. 洗浄・消毒・滅菌とファシリティ・	15
9. 疾病・臨床病態概論	40	マネジメント	
10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	(小計)	197
11. 医療安全学：医療倫理	15	専門科目（特定行為研修区分別科目）	
12. 医療安全学：医療安全管理	15	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
13. チーム医療論（特定行為実践）	15	2. 感染に係る薬剤投与関連	39
14. 特定行為実践	15	(小計)	61
15. 指導	15	演習及び臨地実習	
16. 相談	15	統合演習	15
17. 看護管理	15	臨地実習（認定看護分野）	150
(小計)	380	臨地実習（特定行為区分）	30
		(小計)	195
合 計		833 時間	

※共通科目のうち特定行為研修科目の1～14、専門科目の特定行為研修区分別科目には e ラーニングでの学習形態を活用します。

※認定看護師教育基準カリキュラムでは45分を1時間とみなす「みなし時間」を適用しています。特定行為研修は60分を1時間とする「実時間」を適用していますが、該当教科目の時間数は全て「みなし時間」で設定し表記しています。

7 臨地実習概要

(1) 実習目的

◆認定看護分野

- ① 医療関連感染予防・管理に関する熟達した知識と技術を用いて、効果的に医療関連感染予防・管理を実践できる能力を養う。
- ② 所属している施設での実践に向けた医療関連感染予防・管理システムの構築と医療関連感染予防・管理プログラムを立案する能力を養う。
- ③ 他の看護職及び医療チームメンバーとの間に円滑な人間関係を保ち、指導、相談の役割を担える能力を養う。

◆特定行為区分

- ① 特定行為研修の共通科目及び区分別科目の講義・演習によって修得した実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能を向上する能力を統合することで、医師の指示のもと、手順書により特定行為を行う能力を身につける。
- ② 多様な臨床場面において、医療関連感染症及び耐性菌感染症の重症化を防ぎ、治療の早期開始と適正化を図るために、診断のプロセスと治療方針を理解し、手順書により必要な特定行為を安全に実施するための能力を身につける。

	分野	実習時間	指導者	実習の概要	
臨地実習	認定分野	150 時間 (20 日間程度)	感染管理認定看護師 (専従または専任で活動)	立案した所属施設の医療関連感染予防・管理プログラムを実習施設で一部実践	
	特定行為区分	30 時間 (8 日間程度)	医師	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整(5 例以上)
					脱水症状に対する輸液による補正(5 例以上)
				感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与(5 例以上)

(2) 実習施設

三重県内の医療施設において、認定看護分野と特定行為区分の臨地実習を同一施設で実施します。研修生の配置数は一実習施設に1～2名程度とします。実習中の学習を深め、補強する時間として活用できるよう、実習期間中に自己学習日を設けます。

(3) 実習費用

原則、実習費用は授業料に含まれますが、実習にかかる旅費・宿泊費等は研修生の負担となります。

Ⅱ．募集概要

1 出願資格

出願要件は、次の各号を満たすものとする。

- ①日本国の看護師免許を有すること。
- ②上記の免許取得後、常勤（週40時間勤務）換算で通算5年以上の実務研修をしていること。（実務研修年数は令和4年4月30日現在とする。）
- ③通算3年以上は特定の看護分野の実務研修をしていること。特定の看護分野の実務研修内容については、日本看護協会が定める内容に準拠し、次のとおりとする。（実務研修年数は令和4年4月30日現在とする。）
 - ・通算3年以上、感染管理に関わる活動実績（感染対策委員会、ICT、リンクナース等）を有すること。
 - ・感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を1事例以上有すること。
 - ・医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい。
 - ・現在、医療施設等において、専任又は兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい。
- ④特定の看護分野における通算3年以上の実務研修については、勤務形態が常勤でない場合には、5,400時間以上の実務研修をもって通算3年以上とみなす。
- ⑤本教育課程受講に関して施設長の了解が得られる者。

2 募集人員

15名

3 選抜方法

筆記試験、小論文、面接試験の結果を総合的に判断し、認定看護師教育課程に設置する入試委員会において審議のうえ、決定します。

ただし、合格判定基準を満たす三重県内の医療・介護施設等の在勤者を優先します。

(1) 筆記試験

感染管理の実践に必要な基礎知識の審査を行います。

当該認定看護分野に関連した看護師国家試験出題基準をもとに出題される予定です。

(2) 小論文

看護実践を看護理論や医学的知識と結びつけ、論理的に思考し、記述する能力の審査を行います。

(3) 面接試験

認定看護師としての教育を受ける準備状況や自己の考えを表現する能力、対人関係を構築する能力の審査を行います。

4 出願期間

令和4年1月11日（火）～令和4年1月24日（月）必着

5 試験日程

令和4年2月7日（月）

オリエンテーション	8：45	～	9：00
筆記試験	9：00	～	10：00
小論文	10：45	～	11：45
面接試験	12：30	～	

6 合格発表

令和4年2月17日（木）13時

合格者の発表は、本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛てに合格通知書を送付します。なお、正式な合格発表は、本人宛てに送付する合格通知書によります。（合格通知書は合格発表日に発送するため、発表日に届くものではありません。）

7 出願に必要な書類のダウンロード方法

本学のホームページ（<http://www.mcn.ac.jp/local-exchange/kansen>）より、ダウンロードできます。

※募集概要の詳細は、「入学者募集要項」をご覧ください。

8 出願先

三重県立看護大学地域交流センター

認定看護師教育課程事務局

〒514-0116

三重県津市夢が丘1-1-1

9 納入について

入学検定料、入学料、授業料等の額

区分	金額
入学検定料	55,000円（税込）
入学料	三重県内在住者110,000円（税込） 三重県外在住者165,000円（税込）
授業料（年額）	935,000円（税込） ※分割払い（2回）は可能です。
その他	教科書代が別途必要になります。 また、各自で看護職賠償責任保険制度に加入していただきます。

※振込手数料はご負担願います。

※「三重県内在住者」とは次のいずれかに該当する者とします。

- ・入学手続きを行う日の属する月の初日において、引き続き1年以上三重県内に住所を有している者
- ・三重県内の医療・介護施設等に勤務する出願資格を満たす看護師